

国際リハビリテーション学 投稿規定

1. 本誌の目的

本誌は、国際リハビリテーション研究会の学術誌として国際リハビリテーション学およびその関連領域における研究と実践を公表し、国際リハビリテーション学を発展させることを目的とする。

2. 投稿資格

筆頭著者は、国際リハビリテーション研究会会員に限る。

3. 研究の倫理性

研究に当たって、ヒトを対象とした研究では、世界医師会によるヘルシンキ宣言や厚生労働省による医学研究に関する指針など当該研究の該当する倫理指針を遵守し、著者の所属機関などの研究倫理委員会（またはそれに相当する倫理審査にかわる組織）による承認を得た上で研究を行うものとする。当該研究が倫理的配慮を必要とする場合は、論文内に倫理審査委員会名および承認番号（または承認年月日）を必ず記載し、さらに必要に応じて、研究を実施した国の倫理基準に従い、本人あるいは保証人から同意を得た旨を記載する。

4. 使用言語

投稿原稿は日本語または、英語で作成すること。

5. 原稿の種類

種類	内容	本文の文字数
総説 Review Article	国際リハビリテーションに関する研究・調査論文の文献考察を行い、著者自身の考察を加えて論評しているもの。	12,000 字以内
原著 Original Article	国際リハビリテーションに関する独創的な研究論文。	12,000 字以内
報告 Report	原著には該当しないが、国際リハビリテーションにおいて価値のある研究および実践的な活動をまとめたもの。	12,000 字以内
資料 Information	上記のいずれにも当てはまらないが、国際リハビリテーションにおいて有用な情報や資料となりうると判断されるもの。	12,000 字以内

※本文の文字数には引用文献、図、表、写真を含む。

6. 原稿の構成

頁	内容	詳細
1 頁	著者等の情報	①全ての著者名と所属機関の名称（日本語と英語の両方を記載）
		②投稿責任者の連絡先（メールアドレスと電話番号）
2 頁	表紙	①原稿の種類
		②論文タイトル（日本語）
		③論文タイトル（英語）
		④日本語要旨（400 字以内）
		⑤英語要旨（300 語以内）
		⑥日本語キーワード：5 語以内
		⑦英語キーワード：5 語以内
3 頁以降	本文	※「7. 執筆要領」を参照の上、規定に沿って執筆すること

7. 執筆要領

- 1) 原稿レイアウトは A4 サイズ・横書き・縦 40 行×横 40 字、フォントは MS 明朝体とし、サイズは 10.5 ポイントとする。
- 2) 原稿には査読の便宜のために、「行番号」設定を用いて、原稿全体の左余白に行番号を付ける。
- 3) 原稿は著者情報、表紙、本文の順に作成する。（詳細は「6. 原稿の構成」参照）
- 4) 原稿の本文には原則として「背景」「目的」「方法」「結果」「考察」「利益相反（COI）に関する記載」「引用文献」（必要な場合には「謝辞」）などの見出しを設けて記述する。
- 5) 本文の「章」に相当する見出しは「1.」「2.」・・・、「節」に相当する見出しは「1.1」「1.2」・・・、「項」に相当する見出しは「1.1.1」「1.1.2」・・・のように記載する。さらに小さい見出しが必要な場合は順に「(1)」「(2)」のように記載する。
- 6) 英文要旨は、英語に関して十分な知識をもつ専門家にチェックを受けることが望ましく、英語として不十分な場合、査読において再チェックを求めることがある。
- 7) 年号は原則として西暦を使用し、外国語・外国人名・地名は原語もしくはカタカナ（最初は原綴りを併記）で書く。略語は本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。
- 8) 数字は算用数字として、度量衡単位は CGS 単位とする。
- 9) 図表写真について
 - ・本文とは別に全ての図表写真データを記載した「図表ファイル」を Word 等のドキュメント形式で作成する。
 - ・図表ファイルは 1 頁に 1 点の記載とし一連番号をつける。各データのタイトルや説明は、図と写真の場合はその下部中央、表の場合は上部中央に記載する。
 - ・挿入希望位置は本文中に朱筆する。
 - ・Word 等のドキュメント形式で「図表ファイル」を作成する際に画像化し貼付したデータ（jpg、gif、png、xlsx、pptx、pdf 等の拡張子を有するファイル）がある場合には、投稿時に画像化前のデータを提出する。
 - ・色は白黒かつ、十分な解像度が得られているものとし、十分な解像度が得られていない場合には、デ

ータの再提出を依頼する場合がある。

- ・図表写真は1点につき400字相当とみなす。
- ・いずれの原稿の種類においても、挿入可能な図表写真は6点以内とする。

10) 文献リストは引用文献のみとする。文献著者は5名までを記載し、6名以上は「他」として記載する。

11) 本文中の該当箇所の右肩に、順に¹⁾、²⁾…の通し番号をつけ、文末に番号順に掲載する。

＜雑誌の場合＞

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ.

1) 川住隆一, 佐藤彩子, 岡澤慎一. 応答的環境下における超重症児の不随意的微小運動と心拍数の変化について. 特殊教育学研究. 2008, vol. 46, no. 2, p. 81-92.

2) Galya Frank. Life histories in occupational therapy clinical practice. American Journal Occupational Therapy. 1996, vol. 50, no. 4, p. 251-264.

＜図書の場合＞

著者名. “章の見出し”. 書名. 編者名. 版表示, 出版社, 出版年, はじめのページ-おわりのページ.

3) 菅原和孝. “コミュニケーションとしての身体”. 身体と文化. 菅原和孝・野村雅一編. 第2版, 大修館書店, 1996, p. 22-28.

4) Joshua S. Goldstein. “International relations and everyday life”. Occupational Science -the evolving discipline-. Ruth Zemke, Florence Clark, ed. Second edition, F. A. Davis. 1996. p. 13-21.

＜ウェブサイトの場合＞

著者名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).

5) 坂本和夫編. “パルスレーザーアブレーションにおけるドロップレットフリー薄膜の作製技術”. J-STORE. 2005-11-01. http://jstore.jst.go.jp/cgi-bin/techeye/detail.cgi?techeye_id=32, (参照 2006-06-23).

6) “Grants.gov Application Guide SF424 (R&R)”. U.S. Department of Health and Human Services. http://grants1.nih.gov/grants/funding/424/SF424_RR_Guide_General.pdf, (accessed 2006-07-01).

8. 原稿の送付

1) 投稿は電子メールによる送付のみとする。

2) 投稿は以下のデータファイルを編集委員会に送付する。

①投稿用紙 1部 (著者全員の自筆署名があるものをPDFにて送付)

②原稿ファイル 1部 (Word等のドキュメントファイル形式) ※「6. 原稿の構成」を参照

③図表ファイル 1部 (Word等のドキュメントファイル形式) ※「7. 執筆要領」を参照

④図表ファイルに画像化し貼付したデータの基となるデータファイル

(ファイル形式: jpg, gif, png, xlsx, pptx, pdf等の拡張子を有するファイル)

9. 投稿先

投稿原稿は、下記のメールアドレスに添付メールにて送付する。

学術誌「国際リハビリテーション学」編集委員会

メールアドレス：journal.jsir@gmail.com

10. 採否について

投稿原稿の採否は査読委員の意見を参考に編集委員会で審議し決定する。

11. 校正について

著者校正は原則として1回のみとし、校正の際の大幅な変更は認めない。

12. 著作権について

掲載論文の著作権は国際リハビリテーション研究会に帰属するものとし、掲載後は本会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。

13. 別刷の進呈について

各論文の筆頭著者に掲載誌3冊を進呈する。

14. 利益相反（COI）に関する記載について

利益相反（COI）については、原稿本文中の「引用文献」の前に明記すること。

記載例（無）：「本論文について、他者との利益相反はない。」

記載例（有）：「本論文の研究資金（使用した機材）は〇〇から提供を受けた。」

15. その他

掲載料は無料とする。

なお、この規定は2021年8月6日より実施される。